

## 就職氷河期世代活躍支援プラットフォームのモデル実施について

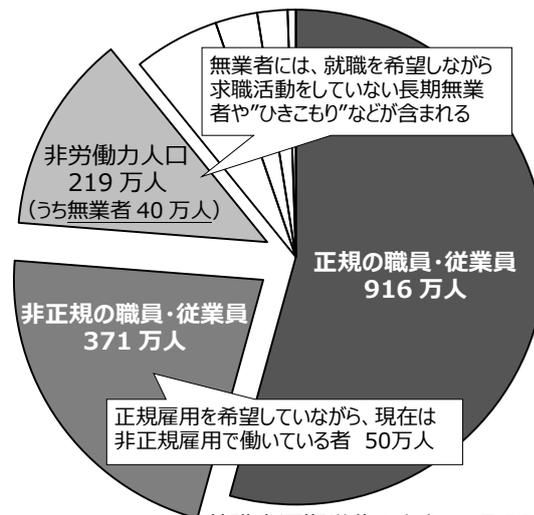
いわゆる“就職氷河期世代”は、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、既に30代半ばから40代半ばに至っています。希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している方が多くいます。本年10月、大阪府域は全国に先駆けて、厚生労働省の「就職氷河期世代活躍支援プラン」をモデル的に実施する地域に選定されました。関経連は、施策実施の官民協働スキームとなる「大阪就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」の構成員となり、大阪府域で進められる支援施策の実施に協力することとなります。まずは、政府の関連施策の概要をご紹介します。

### 就職氷河期世代支援プログラム（2019年6月21日政府策定）

すべての世代の人々が希望に応じて意欲・能力をいかして活躍できる環境整備を進める中で、就職氷河期世代が抱える固有の課題（希望する就業とのギャップ、実社会での経験不足など）や今後の人材ニーズを踏まえつつ、個々人の状況に応じた支援により、同世代の活躍の場をさらに広げられるよう、地域ごとに対象者を把握した上で、具体的な数値目標を立てて3年間で集中的に取り組む。

#### ○支援の対象

- ▶ 正規雇用を希望しながら、不本意に非正規雇用で働く者  
（フリーター等の不安定就労者）
  - ▶ 就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業者
  - ▶ 社会とのつながりを作り、社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする者  
（いわゆる“ひきこもり”等）
- ➡ 全国で100万人程度を見込む。3年間の取組により、現状よりも良い処遇、そもそも働くことや社会参加を促す中で、同世代の正規雇用者について、30万人増やすことを目指す。



就職氷河期世代の中心となる35～44歳の雇用形態内訳（2018年：1,689万人）※1

#### ○施策の方向性

##### ①相談、教育訓練から就職まで切れ目のない支援

- ▶ きめ細かな伴走支援型の就職相談体制の確立（ハローワークへの専門窓口の設置など）
- ▶ 受けやすく即効性のあるリカレント教育の確立（職業訓練受講給付金の拡充など）
- ▶ 採用企業側の受入機会の増加につながる環境整備（企業へのインセンティブの強化など）
- ▶ 民間ノウハウの活用

##### ②個々人の状況に合わせた、より丁寧な寄り添い支援

- ▶ アウトリーチの展開（地域若者サポートステーションや生活困窮者相談支援機関の強化など）
- ▶ 支援の輪の拡大（多様な地域活動の促進やNPOの活用など）

##### ③官民協働スキームとしてプラットフォームを形成

- ▶ 就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成し、支援の実効性を高めるための官民協働スキームとして、関係者で構成するプラットフォームを国および都道府県に形成

（詳しくはこちら） [https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku\\_hyogaki\\_shien/index.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku_hyogaki_shien/index.html)

※1 「労働力調査基本集計（2018年平均）」（総務省統計局）に基づき内閣府作成。

（出所：令和元年第3回経済財政諮問会議資料）



## 厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン（2019年5月29日厚生労働省策定）

政府の「就職氷河期世代支援プログラム」の策定にあわせ、就職氷河期世代の活躍促進に向け、就職・正社員化の実現、多様な社会参加の実現につなげる支援施策を取りまとめた。なお、2020年度概算要求において、政府全体の就職氷河期世代支援関係予算として総額 1,344 億円が計上されている。

### ○主な施策の内容

#### ①地域ごとのプラットフォームの形成・活用

- ▶ 都道府県レベルのプラットフォームを活用した社会機運の醸成
- ▶ 福祉と就労をつなぐ市町村レベルのプラットフォームの整備による就職・社会参加の実現

#### ②就職氷河期世代、一人ひとりにつながる積極的な広報

#### ③対象者の個別の状況に応じたきめ細やかな各種事業の展開等

##### 【安定就職に向けた支援プログラム（不安定な就労状態にある方などの活用を想定）】

- ▶ 民間事業者のノウハウを活かした不安定就労者の就職支援
- ▶ ハローワークに専門窓口を設置、担当者によるチーム支援を実施
- ▶ 業界団体等と連携し、短期間で取得でき、安定就労に有効な資格等の取得を支援
- ▶ 働きながらでも無料で受講可能な訓練の提供
- ▶ 就職氷河期世代に特化した求人の開拓、マッチング、助成金の活用促進
- ▶ 職場での実務を通じて適性や能力を摺り合わせる機会、座学と実務による訓練機会の提供

##### 【就職実現に向けた基盤整備に資するプログラム

（長期にわたり無業の状態にある方などの活用を想定）】

- ▶ 地域若者サポートステーションの取組強化

##### 【社会参加実現に向けたプログラム】

- ▶ 支援が必要なすべての方に支援を届ける体制の強化、地域共生社会の実現 など

（詳しくはこちら） [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000101520\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000101520_00002.html)



## 大阪就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム（2019年10月18日設置）

大阪府は、全国に先駆けて、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン（上記下線部）」に基づき、都道府県プラットフォームをモデル的に実施する地域として選定されたことから、大阪府域の関係機関を構成員として、府内の就職氷河期世代の活躍支援策のとりまとめ、進捗管理等を統括する「大阪就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」を設置する。

### ○構成員

- ▶ 大阪労働局、大阪府・市、堺市、就労支援機関、労働団体、経済団体、業界団体など

### ○現在検討されている主な取り組み

- ▶ 支援対象者の把握、K P I の設定、支援施策および実施計画の策定
- ▶ 機運醸成および行政支援策の周知 など

現在、大阪労働局と関係連はじめ関係団体が連携して、大阪府域で実施する支援プランや実施計画の策定を進めています。就職氷河期世代の採用や正社員化の促進、あるいは多様な社会参加の実現に向けて、大阪府域で展開される支援施策の詳細および関係連の取り組みにつきましては、改めて、会員企業向けの説明会を開催する予定です。

（お問い合わせ先）大阪労働局職業安定部職業安定課 ☎ 06-4790-6300